

テーマ：北方領土（実践校）

釧路管内 釧路市立興津小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・北方領土についての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育むため、ふるさと教育コーナーを設置したり、集めた情報を基に自分の考えをまとめたりする学習活動や、学習のまとめで北方領土の歴史や文化について表現する学習活動を展開しました。

■ふるさと教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

ふるさと教育コーナーを校内に設置したり、北方領土の語り部による講話を聞いたりする学習を通して、北方領土や釧路市についての理解を深め、課題意識を高めることをねらいとして「北方領土の歴史や文化について、自分の考えをレポートにまとめよう」という課題を設定しました。

(2) 情報の収集

課題の解決に向けて、「ふるさとのよさとは何か」「自分のふるさとのよさは何か」について考える学習をしたり、北方領土の語り部にインタビューしたりことにより、課題解決のための情報を収集しました。

(3) 整理・分析

北方領土の語り部の講話の内容や調べ学習で得た情報を整理・分析することを通して、北方領土の歴史や領土問題解決の重要性に気付くことができました。

(4) まとめ・表現

課題に基づき整理・分析した情報を基に読み手に分かりやすいよう、絵や写真などを入れてレポートを作成し、学んだことをまとめました。作成したレポートは、ふるさと教育コーナーに掲示しました。



【北方領土の語り部による講話】



【ふるさと教育コーナー】

②児童の感想等

- ・北方領土の語り部の講話を聞いて、もっと北方領土のことが知りたくなりました。
- ・当時の生活の大変さが分かりました。今もふるさとに帰ることができない元島民のために、自分ができることを考えたいと思いました。
- ・北方領土の問題を詳しく知る中で、悲しいことがたくさんあったことが分かりました。これから私たちが北方領土のことをもっと調べたり、伝えたりしていかなければならないと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 北方領土に係る学習についてのアンケートでは「北方領土の自然や歴史、領土の返還についてもっと調べたいと思う」と回答した児童の割合が、70%から84%に増加するなど、自分たちが住んでいる地域の歴史や北方領土の歴史・文化等に関する興味・関心を高めることができました。
- 北方領土への理解を深めるために、教科等横断的な視点から学習内容の繋がりについて整理し、指導計画の改善・充実を図る必要があります。